商品市況展望

平成 25 年 2 月 10 日記

昨年 12 月 2 日号で紹介した「当たり馬券配当 30 億円、外れは経費？…裁判」の続報が出たので、また紹介する。今度は国税局に続き、検察が大バカ理論を展開している。

競馬配当 5 億 700 万円脱税、懲役 1 年を求刑

競馬の配当で得た所得を申告せず、2009 年までの 3 年間に約 5 億 7000 万円を脱税したとして所得税法違反に問われた元会社員の男性（39）の第 3 回公判が 7 日、大阪地裁であり、**検察側は「課税処分を受けたのは自業自得。経緯に酌量の余地はない」として懲役 1 年を求刑した。**

弁護側は「外れ馬券の購入費用も必要経費とみなすべきで、大阪国税局の課税処分は違法」と改めて無罪を主張し、結審した。判決は 5 月 23 日。
検察側は論告で、必要経費として控除されるのは当たり馬券の購入費のみであり、配当金は確定申告が必要な一時所得に当たる、と指摘。「被告は、外れ馬券分が控除されない可能性を認識していた」と述べた。

これに対し、弁護側は「確定申告が必要だとは日本中央競馬会（JRA）も周知せず、課税が行われてこなかったのが実態で、被告にとってあまりに過酷だ」と反論。男性は勤務先から促されて 1 月末で退職したことを明かし、意見陳述で「判決を見守っている人は多いと思う。適正な判決をお願いします」と述べた。

男性は地方税なども含め約 10 億円の課税処分を受け、これまでに計約 6800 万円を納税。現在も月 8 万円ずつ支払っているという。先月 25 日、国を相手に処分の取り消しを求める訴訟を大阪地裁に起こした。
http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20130207-OYT1T00546.htm

所得税法は「収入を生じた行為のために直接要した金額」を必要経費と規定。大阪地検はこれに基づき、当たり馬券の購入費約 1 億 3000 万円のみを経費として払戻金から差し引き、もうけの 20 倍に当たる 28 億 8000 万円が課税対象に当たると判断して起訴した。
http://www.nikkansports.com/general/news/f-gn-tp0-20130207-1082050.html

男性は、株式の損失や約 6800 万円の納税で貯蓄も底をつき、手取り約 30 万円の収入で妻子を養いつつ毎月約 8 万円の納税を続けているという。中村弁護士は「もう手元には何もない状態。**納められない不可能な課税はナンセンス**」と指摘する。裁判は早ければ 3 月にも判決が出る。
http://www.nikkansports.com/general/news/p-gn-tp0-20130207-1081975.html

こういう裁判こそ、裁判員制度で法律の矛盾を付くべきだし、国会はすぐに法律改正をすべき案件だ。橋下市長よ！足元の大阪で起きている裁判だが、国がやっている公営ギャンブルでこのような悪法がまかり通ったら、**カジノ構想なんぞ絵に書いた餅**に決まっておろう。

とにかく公営ギャンブルというのは、元々テラ銭が莫大に掛かっているわけであり、競馬の場合は25%が初めから配当から除かれているわけだ。
競馬で普通の人が勝てないのはこれが大きな理由であり、この控除率 25%というのは、例えば**「1,000円ずつ出し合って二人でジャンケン勝負をした場合、負けた方は1,000円取られるが、買った方も1,500円しかもらえない」**。そういう事なわけだ。
そして胴元は、1回のジャンケンにつき、500円という膨大なテラ銭をふんだくるわけだ。ヤクザの博奕場だって、もうちょっと良心的だろうよ。

25%の中には、もちろん運営費もあるから、純粋に国が吸い上げるのは10%くらいらしいが、それでもこの男は30億円分近くの馬券を買ったわけだから、3億円もすでに国庫に納めている偉人である。

所得税法は「収入を生じた行為のために直接要した金額」を必要経費と規定。そりゃ確かにそうなんだろうし、「悪法も法なり」というのは判らんでもないが、「**計約28億7000万円分の馬券を購入。計約30億1000万円の配当を得ており、利益は約1億4000万円だった**」わけなのに、10億円分の課税とはこれ如何に？　5億700万円の脱税と言われたって、無いカネは払えんよ！そうだろう？
だが払わんのなら、懲役1年だぞ！って言うんじゃ、もうこりゃ国のいじめでしかない。

よく、ギャンブルに負けて破滅した、という話は聞くわけだが、**この男、ギャンブルに勝って破滅しそう**なわけで、こんなバカ悪法がまかり通るのであれば、もう公営ギャンブルなんか全部止めてしまえよ！という話だ。買っても負けても破滅のゲームなんて、詐欺でしかなかろう。

とにかく国はこんなバカな法律は改正し、6800万円の納税分も返還すべきだ。元々、2重課税をしているだから、当り前でしょ！

〔貴金属〕

○東京金日足

…削除済み…

今週の金の値動き

	2 月限(当限)	前日比	12 月限(先限)	前日比
2 月 4 日	¥4,987	57	¥4,996	53
2 月 5 日	¥4,983	−4	¥4,995	−1
2 月 6 日	¥5,049	66	¥4,062	67
2 月 7 日	¥5,062	13	¥5,079	17
2 月 8 日	¥5,014	−48	¥5,030	−49

金相場は、先週号においては『大勢では少なくとも 5,700 円台まで上がると考えており、押し目買い相場には何の変化も無いと思っているが、週末から連休を迎える東京市場は短期的な天井を形成する可能性も捨てきれない。今週は手を早くして、連休前までにはリスク管理を徹底するのが良いだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、**5,081 円（2/7）まで記録**であり、ついに 5,000 円台乗せの上場来最高値を更新。しかし週末は 3 連休前の利食い売りから一転下落となり、その後の夜間取引でも続落で**4,971 円の安値まで記録**。高値から 110 円の押しを入れているわけだ。

今回もズバリの展開となったわけだが、東京市場は 3 連休。12 日（火）の朝までは立会が無いわけで、本格的な調整局面に入ったのか？それともあっという間に切り返すのかは、それこそ何とも言えない状況だ。

…中略…

よって連休明けの予想は立たぬが、出来ることならば安くなっていてくれれば、買いやすくて非常によろしいという事。予想というよりも、これだと単なる願望だな（笑）

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 2 月	¥4,654	2 月 27 日	**¥5,065**	**2 月 7 日**	¥3,885	6 月 4 日	¥5,014
2013 年 4 月	¥4,307	4 月 25 日	**¥5,069**	**2 月 7 日**	¥3,886	6 月 4 日	¥5,019
2013 年 6 月	¥4,023	6 月 27 日	**¥5,068**	**2 月 7 日**	¥3,940	7 月 24 日	¥5,016
2013 年 8 月	¥4,224	8 月 29 日	**¥5,873**	**2 月 7 日**	¥4,166	9 月 3 日	¥5,023
2013 年 10 月	¥4,404	10 月 29 日	**¥5,077**	**2 月 7 日**	¥4,330	11 月 6 日	¥5,026
2013 年 12 月	¥4,519	12 月 25 日	**¥5,081**	**2 月 7 日**	¥4,502	12 月 25 日	¥5,030

5,000 円突破を果たした金相場だが、

このところ何度もコメントしているが、中長期的に見て…

○1800 ドル×100 円÷31.1035＝5,787 円　までは少なくとも上がる可能性は非常に高い、と考えているわけだ。その考え方には、まだ変化無しだ。

もしも本格的な調整局面が来るのなら、チャートでの現在の基準線 4,829 円～転換線 4,956

円の範囲だろう。高値から 200 円も下げてくれれば、御の字だろうと考えているわけだ。

なお相場の先行きに気掛かりな点を挙げるとすれば、次週以降は**中国圏（中国本土、香港、台湾）の旧正月明けで、金の需要最盛期がピークアウトする事**。

だが 2012 年の同国金生産量は前年比 11.7%増の 403 トンとなり、過去最高を記録。また、香港特別行政区政府統計処の統計によると、中国本土の香港からの 2012 年 12 月の金輸入量は 114.4 トンと、月間ベースで過去最高を記録。また、同処の統計から **2012 年年間の金輸入量は累計で前年比 93%増の 834.5 トン**で、これもまた過去最高記録となった。

〇NY 金日足
…削除済み…

週末 2/8 の NY 市場は、前日比 4.4 ドル安の 1666.9 ドルでの終了。為替は 92.74 円（一時は 92.14 円まであった）での終了のため、国内換算では 43 円安である。

NY 金はまだ、**1630 ドル～1700 ドル手前でのもみ合い**を抜け出すには至らず。**一目均衡表の雲の下での推移も変わらないが、1,700 ドルと来れば上に抜ける**。逆に **1626 ドル（1/4）を割り込めば底抜けとなる**状況は変わらない。

…中略…

CFTC 発表の 2/5 現在のファンドのポジションは、…中略…

また 2/8 現在での ETF 残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、国内金価格の動向は為替次第であり、3 連休明けの為替動向に注目だ。またドル建て金価格は、来週末からの動きに注目。いずれにせよ、大勢押し目買いの相場に変化なしであろうが、買うならなるたけ安いところを買いたいのが、市場参加者共通の認識だろう。

○東京プラチナ日足
…削除済み…

今週のプラチナの値動き

	2 月限（当限）	前日比	12 月限（先限）	前日比
2 月 4 日	¥5,075	122	¥5,115	122
2 月 5 日	¥5,028	−47	¥5,075	−40
2 月 6 日	¥5,164	136	¥5,209	134
2 月 7 日	¥5,247	83	¥5,297	88
2 月 8 日	¥5,133	−114	¥5,188	−109

プラチナ相場は、先週号においては『ほぼ目先の目標値に達し、3 連休を控えているため乱高下が起きるか。基本的には押し目買いに変化はないだろうが、踏み上げ後の急落に注意だ』とコメントした。

今週の相場展開は、**5,300 円（2/8）の高値まで記録**し、先週の高値から更に 200 円以上の急騰を演じた。しかし 3 連休を控えた週末は、為替の円高もあって急反落に転じ、その後の夜間取引でも下落で **5,110 円の安値を一時記録**。高値からは 190 円の急落である。

5,000 円台に乗せたあとに更に急騰した相場だったが、踏み上げ相場のような格好になって、一転しての乱高下に入っている。これも予想通りの展開である。

次は 3 連休明けの相場という事になるが、…中略…

いずれにせよ、相場全体が円安での上昇を追い風にしている限り、また「金相場が当方の相場観ではひとまず 5,700 円を目標としている」と判断している限り、またプラチナはその金よりも上ザヤで推移しそうな事はアナリストの共通認識であるゆえ、**ざっくりプラチナは 6,000 円目標**と言うのが妥当な考え方だろう。

今のところ、そのプラチナ独自の材料としては、
○アングロ・アメリカン・プラチナムは、南アの一部鉱山の操業縮小などで、**年間 40 万オンス（約 12.4 トン、世界の白金総生産量の約 7%に相当）を減産する方針**。
○同社の**昨年の違法ストによる減産は、30.6 万オンス（約 9.5 トン）**
○NY 市場での**ファンドの買い越しは、4 万 9,500 枚と更に増加**。←New
○タイ、インドネシアの新車販売台数は、それぞれ 100 万台を突破。
○日本メーカーの自動車生産の合計は、前年比 18.3%増の 943 万 6015 台で 2 年ぶりに前年を上回った。海外生産は同 18.6%増の 1543 万 9125 台。
○英バークレイズは、今年、世界の白金生産量が前年比 2.7%減少し 568 万オンス（約 176.7 トン）と、200 年以来の低水準に落ち込むと予想する一方、自動車メーカーの白金需要は今年、0.5%増加すると予想。←New
○米調査会社オートデータによると、**今年 1 月の米国の新車販売台数は、前年同月比 14%増の年率 1530 万台となり、3 ヵ月連続で 1500 万台の大台を上回った**。新車の繰越需要に加え、米住宅市場の改善や低金利が追い風となった模様。←New

以上のような、需給両面での強材料が散見されるわけで、金以上に相場が高騰する背景には事

欠かない情勢となっているのが、今のプラチナ市場である。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナ一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 2 月	¥4,535	2 月 27 日	**¥5,247**	**2 月 7 日**	¥3,468	7 月 24 日	¥5,133
2013 年 4 月	¥4,090	4 月 25 日	**¥5,255**	**2 月 7 日**	¥3,466	7 月 24 日	¥5,156
2013 年 6 月	¥3,681	6 月 27 日	**¥5,267**	**2 月 7 日**	¥3,460	7 月 24 日	¥5,156
2013 年 8 月	¥3,860	8 月 29 日	**¥5,274**	**2 月 7 日**	¥3,807	8 月 31 日	¥5,159
2013 年 10 月	¥3,998	10 月 29 日	**¥5,288**	**2 月 8 日**	¥3,933	10 月 30 日	¥5173
2013 年 12 月	¥4,249	12 月 25 日	**¥5,300**	**2 月 8 日**	¥4,236	12 月 25 日	¥5,188

だが前述のとおり 3 連休を控えた相場は、高値の **5,300 円→夜間取引での安値 5,110 円**まで一時急落している。

〇プラチナ－金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、5,188 円（プラチナ）－5,030 円（金）＝**158 円**。

昨年は一時－550 円までプラチナが割安になったわけだが、それは完全に歴史的な底であろう。今週は 218 円（2/7）まで拡大の後、若干詰まった格好だが、もうマイナスになるのも困難かもしれない。

結論として当方の相場観は、大勢での押し目買い相場には、まだ変化はないだろう。最大下げた場合は、高値からの 5%下げを想定しており、これは 5,300 円からであれば 265 円下げとなるわけで、結局 5,000 円割れは困難だろうという見方だ。

〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	3 月限（当限）	前日比	1 月限（先限）	前日比
2 月 4 日	¥32,500	−480	¥27,940	180
2 月 5 日	¥31,500	−1000	¥27,780	−160
2 月 6 日	¥31,500	0	¥27,960	180
2 月 7 日	¥31,500	0	¥27,430	−530
2 月 8 日	¥32,490	990	¥26,800	−630

まずはコーンから…

先週号においては『中長期的には売り相場だと考えているものの、目先は押し目買い相場が続くだろう。連休前後に大きな調整があれば、そこは買い場かもしれない。ただし本命は、春の天井の売り狙いだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、**28,170 円（2/5）まで上昇**の後、連休を控えた週後半からは為替が円高にブレた事もあって急落。**26,800 円まで 1,370 円の急落**となって週を終えた。

次々と上値抵抗線を突破して上がってきた相場だったが、相対力指数が 70 ポイントオーバーで過熱感が出た中で、為替も円高調整となった事で急落。**一気にチャート上での基準線のところまで下落を演じたわけだ。**

まずはこの、そんなに大して買い材料が無かったコーンの下落から始まったわけだが、他の商品でも調整安が入る場合は、この基準線到達が一つの目処となるのではあるまいか。

さてそんな中、**週末 2/8 の米国市場では米農務省需給報告があった。**…中略…

また最近の上昇の主因となっている**アルゼンチンの干ばつは、同国の生産高を 2,700 万トンと 100 万トンの下方修正**としたが、**ブラジルを 7,250 万トンと 150 万トン上方修正して相殺。**現状では供給不安は無いと思っているのだが、相場はムードで動くものだし、国内相場は何よりも逆ザヤ＆円安での上昇ゆえ、やはりこれだけで天井というのも難しいか。

ただしいずれにせよ、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 3 月	¥23,290	2 月 16 日	**¥33,940**	**2 月 4 日**	¥20,820	6 月 4 日	¥32,490
2013 年 5 月	¥23,250	4 月 16 日	**¥33,900**	**2 月 5 日**	¥21,040	6 月 4 日	¥32,000
2013 年 7 月	¥21,550	6 月 18 日	**¥33,350**	**2 月 5 日**	¥21,490	6 月 18 日	¥31,200
2013 年 9 月	¥28,500	8 月 16 日	¥29,430	8 月 23 日	¥25,510	10 月 1 日	¥27,980
2013 年 11 月	¥25,600	10 月 16 日	**¥27,970**	**2 月 6 日**	¥24,420	11 月 14 日	¥26,810
2014 年 1 月	¥25,700	12 月 17 日	**¥28,170**	**2 月 5 日**	¥24,930	12 月 21 日	¥26,800

今週も多くの限月が**一代高値の更新**を果たした後、週末に掛けては大きく値を消した図式。週明けからは東京工業品取引所に移管されるわけで、週末の夜間取引は無かった。

なお「取組高の公開」であるが、今後1年程度は公開を継続すると決まった。当然そうしてくれないと困るわけで、今後も改悪にならないように声を上げて行く事が必要だろう。

〇シカゴコーン日足
…削除済み…
週末2/8のシカゴ市場は、3月限で1.75セント安の710.75セントでの終了。安値は706.75セントまであった。**12月限では3.25セント安の563.25セント**である。

相変わらずの逆ザヤ相場であるが、…中略…

なおCFTC発表の2/5現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、このまま崩れてしまう相場ではないと見ており、もう一度高い場面があるとは思うが、今週の下落でやはりそんなに強い相場ではなかったと証明せれた格好か。短期的には突っ込み買い狙いであるが、中長期的には戻り売りの相場であろう。

〇東京大豆日足
…削除済み…

今週の大豆の値動き

	2 月限（当限）	前日比	12 月限（先限）	前日比
2 月 4 日	¥63,240	3960	¥54,430	760
2 月 5 日	¥64,000	760	¥54,360	−70
2 月 6 日	¥64,000	0	¥55,200	840
2 月 7 日	¥63,000	−1000	¥54,690	−510
2 月 8 日	¥62,010	−990	¥54,200	−490

続いて一般大豆です…

先週号においては『円安＆シカゴの反騰を受けた相場は、当方の想定よりも強い展開となっているわけで、もうしばらく強い相場展開が続きそうだ。しかし大勢では、今年の穀物相場に大相場は無いとの見方は変わらない。待つは仁であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、**55,450 円（2/6）まで上昇**となったが、連休を控えた週後半には反落に転じ、**54,200 円まで 1,250 円値を消しての終了**となった。

チャートでは、**48,450 円（1/9）→55,450 円（2/6）までちょうど 7,000 円上げ**、相対力指数も 80 ポイント超えという過熱感を示した後、為替の調整もあって**ひとまず上昇が止まった格好**だ。道中、50,860 円の上値抵抗線を突破したところから加速が付き、ちょっと下落しているわけだ。

仮に調整が進むとした場合は、コーン同様に相対力指数 50 ポイント程度、**基準線の 51,950 円辺り**という事になるのだろうが、まだそれには 2,000 円以上の下落が必要。

そんな中、東京市場は 3 連休に突入だが、**シカゴの週末は 40 セントほどの急落**となっているため、換算では 1,500 円以上安い状況となっている。こういうのが来れば、大勢は売りでも、また買って取れる相場かもしれない。

さて週末のシカゴ急落の要因は、「**噂で買って、事実で売る**」という相場特有の動きが出たからである。

この日発表された**米農務省報告では、**…中略…

また**アルゼンチンの乾燥予報は続いているが、**…中略…

今の穀物相場は、不安を煽って飯の種にしているわけだ。

まあともかく、今年の米国の作付は史上最大になる予定だが、その前にあまり下がったのでは、農家の作付意欲を削ぐ。そこまでは高いほうが、皆の都合が良いのだろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 2 月	¥41,900	2 月 16 日	**¥64,000**	**2 月 5 日**	¥41,050	2 月 16 日	¥62,010
2013 年 4 月	¥45,350	4 月 16 日	**¥62,820**	**2 月 6 日**	¥41,750	6 月 4 日	¥62,470
2013 年 6 月	¥44,700	6 月 18 日	**¥58,190**	**2 月 7 日**	¥44,400	6 月 18 日	¥57,900
2013 年 8 月	¥48,020	8 月 16 日	**¥58,400**	**2 月 7 日**	¥47,500	11 月 13 日	¥57,650
2013 年 10 月	¥47,220	10 月 16 日	**¥57,960**	**2 月 6 日**	¥46,920	10 月 16 日	¥56,920
2013 年 12 月	¥50,680	12 月 17 日	**¥55,450**	**2 月 6 日**	¥48,450	1 月 9 日	¥54,200

夜間取引は、東京工業品取引所への移管で休場。週明けの予測は難しいが、一日目のシカゴは前述の通りに急落したわけだ。

なお非常に大きな逆ザヤ相場となっているわけだが、今の在庫率～南米の収穫～シカゴの作付と進むタイムスケジュールなので、そうそう簡単に逆ザヤの解消は難しいだろう。**新穀・旧穀は別な商品だと思ってやった方が良い。**

〇シカゴ大豆日足

…削除済み…

週末 2/8 のシカゴ市場は、3 月限で 34.25 セント安の 1452.50 セント。11 月限は 42.00 セント安の 1282.00 セント。

暴落の展開であるが、元々前日までコーンに比べて調整が遅れており、この下げは当然の結果であろう。

チャートでは、一目均衡表の上に出ていたが、結果としてそれがダマシになった模様。**下値支持線は 1351.50 セント**であるが、まだ 1 ドル下であり、いっぺんにそれを目指す事もまた無いだろう。

CFTC 発表の 2/5 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、52,000 円以下まで大きく突っ込めば、そこはまた買いでも面白いだろう。しかし基本的には、戻り売りのトレンドであり、円安以外の材料を過大視する事は出来ない相場であろう。

〔ゴム〕

〇東京ゴム日足
…削除済み…

今週のゴムの値動き

	2 月限（当限）	前日比	7 月限（先限）	前日比
2 月 4 日	310.2	9.8	333.3	9.8
2 月 5 日	309.2	−1.0	331.5	−1.8
2 月 6 日	311.0	1.8	334.0	2.5
2 月 7 日	309.5	−1.5	333.0	−1.0
2 月 8 日	308.0	−1.5	330.2	−2.8

先週号においては『結果的に 300～320 円のもみ合いは、天井形成ではなく、中段もみ合いだったわけで、上放れた相場は上昇に加速が付くだろう。まずは 340 円目標であり、場合によっては 370 円も有り得るか』とコメントした。

今週の相場展開は、**337.8 円（2/6）まで上昇**となり、目標の 340 円に近づいた。しかしそこからは失速となり、**330 円台でのもみ合い推移**となっている。

321 円を上抜いた事で、再び上昇に加速が付いた相場だったが、円安の一服と、他商品も上げもだえの様相を呈してきたところから、ゴムも若干は失速～横ばい推移である。
…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 2 月	230.0	8 月 26 日	**314.2**	**2 月 6 日**	216.4	8 月 31 日	308.0
2013 年 3 月	253.5	9 月 25 日	**316.6**	**2 月 6 日**	240.0	11 月 12 日	309.4
2013 年 4 月	262.1	10 月 26 日	**323.9**	**2 月 6 日**	241.8	11 月 12 日	315.7
2013 年 5 月	259.7	11 月 27 日	**329.0**	**2 月 6 日**	245.6	11 月 29 日	321.0
2013 年 6 月	286.0	12 月 21 日	**334.1**	**2 月 4 日**	283.8	12 月 21 日	325.6
2013 年 7 月	316.3	1 月 28 日	**337.8**	**2 月 6 日**	309.6	1 月 29 日	330.2

当先のサヤは、2 月限 308.0 円～7 月限 330.2 円と **22.2 円の順ザヤ**。順ザヤは拡大したままであり、ファンド主導の買い相場の特徴か。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、1/20 現在で 328 トン増の 7,262 トン。2 旬ぶりの増加である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、27,000 元台乗せまで上昇。だが中国は国慶節休日に入ったため、2 月 9 日～15 日は休場である。

中国汽車工業協会は、1 月の中国の自動車販売台数は前年同月対比 46.4%増の約 200 万台となったと発表。

何たって中国の発表する経済指標には全く信用がないわけで、これが本当なのかどうなのかは誰にも判らん。普通なら買い材料だが、欧米や日本、東南アジアなどもデータは信用されても、これは誰も信用しないだろうから、こんな買い材料が出るとかえって買いたくなくなる不思議よ！

これはこれとして、当面はチャートでの判断しかあるまい。

結論として当方の相場観は、340 円手前まで上昇した後に調整局面入りしているが、下値抵抗線は今のところ 320 円であろう。その辺はまた買い場と見るのが順当で、崩れるには 300 円割れが無いと難しいだろう。

〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足
…削除済み…

今週の原油の値動き

	2 月限(当限)	前日比	7 月限(先限)	前日比
2 月 4 日	¥65,110	620	¥64,070	790
2 月 5 日	¥64,350	−760	¥63,200	−870
2 月 6 日	¥65,850	1500	¥64,880	1680
2 月 7 日	¥65,850	0	¥64,970	90
2 月 8 日	¥66,040	190	¥64,980	10

まずは原油から…

先週号においては『青天井の相場展開は、行き着くところまで行かないと判断のしようがない。しかしここからはさすがに買いたくないので、更に吹き上げたところは利食い千人力の様子見が良いだろう。新規売りは、天井確認出来るまでは不可だ』とコメントした。

今週の相場展開は、**NY 原油は**先週に付けた高値 **98.24 ドル（1/30）をトップに、もみ合いへ移行**。95 ドル台まで下落し、週末 2/8 は前日比 0.11 ドル安の **95.72 ドルでの終了**である。

NY 原油は、完全に上昇一服となった格好である。ざっくり 84 ドル→98 ドルまで 14 ドル上げたのだから、**3 分の 1 押しなら 94 ドル辺りまで、半値押しなら 91 ドル辺りまで**下げても自然だし、その後また上昇相場に入っても不思議ではない。

…中略…

一方で週末の**ロンドンブレントは 119 ドル台**まで一時上がっており、**ドバイ原油も 114 ドル台**まで上昇と、**また NY 原油とのサヤが拡大して来ている**。

これは中東情勢が緊迫化して来ているためであり、…中略…

どうも米国市場では、シェールオイルがあるため、そんなに中東を気にしていないのかもしれない。日本もいよいよ米国からのシェールガスが輸入されるのだろうが、オイルはまだ米国が輸出する気が無さそうなので、中東情勢も気にしておかないとしょうがないだろう。そのためのシーレーン確保という意味でも、中国海軍への対応は重要だろうが。

なお **2/5 現在のファンドのポジションは**、…中略…

○東京原油日足
…削除済み…

東京原油は、中東産原油なわけであり、**ドバイ高＆円安を映して 65,460 円（2/8）と週末まで高値追い。全限一代高値の更新中**である。

もっとも夜間取引では、一時 92.14 円まで進んだ円高もあり、**64,110 円まで下落**もあったが、その後再び **65,450 円と高値とほぼ面合わせ**する価格も出したりと、相変わらずの堅調ぶりだ。

先週号で『さすがに買いたくないので、更に吹き上げたところは利食い千人力の様子見』とコ

メントしたわけだが、NY 原油はその通りの展開になったが、東京原油だけはなおまた高いという過熱ぶりだ。
　チャートでは、相対力指数が 78 ポイント台であり、…中略…

　なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 2 月	¥53,910	9 月 3 日	**¥66,080**	**2 月 8 日**	¥50,290	9 月 21 日	¥66,040
2013 年 3 月	¥52,040	10 月 1 日	**¥66,520**	**2 月 8 日**	¥50,610	11 月 12 日	¥66,110
2013 年 4 月	¥51,740	11 月 1 日	**¥66,300**	**2 月 8 日**	¥50,390	11 月 12 日	¥65,890
2013 年 5 月	¥54,860	12 月 3 日	**¥66,000**	**2 月 8 日**	¥52,370	12 月 11 日	¥65,570
2013 年 6 月	¥58,080	1 月 4 日	**¥65,710**	**2 月 8 日**	¥57,320	1 月 8 日	¥65,240
2013 年 7 月	¥62,910	2 月 1 日	**¥65,460**	**2 月 8 日**	¥62,830	2 月 1 日	¥64,980

　結論として当方の相場観は、NY 原油は調整局面入りをしているが、ロンドン・ドバイは中東情勢の緊張で高値追いのまま。東京もそれに円安が加味され、まだ騰勢一服とはなっていない。目標値は不明で、言える事は「明確に天井を確認するまで、新規売りは危険」という事のみだ。

〇東京ガソリン日足
…削除済み…

今週のガソリンの値動き

	3 月限（当限）	前日比	8 月限（先限）	前日比
2 月 4 日	¥78,070	1070	¥79,380	1010
2 月 5 日	¥76,440	−1630	¥78,500	−880
2 月 6 日	¥77,920	1480	¥80,070	1570
2 月 7 日	¥78,550	630	¥80,740	670
2 月 8 日	¥77,880	−670	¥80,070	−670

続いてガソリンです…

先週号においては『国内需給やスポット価格から考えても、さすがに上げ過ぎの様相を呈してきたか。単なる値頃での新規売りは危険だが、さすがに一度は冷やされる場面が接近しているだろう。値頃売りも危険だが、買い安心もまた危険な水域であると見る』とコメントした。

今週の相場展開は、また高値値を切り上げた相場が **81,220 円（2/8）まで上昇**。その後は連休を控えた利食い売りで 1,000 円ほど下げたが、**夜間取引では高値 81,950 円、安値 78,990 円と上下 3,000 円の乱高下**。

夜間取引での**高値 81,950 円まで記録（3 時半頃）**で、騰勢が更に強まっている状況だ。もっともその短い夜間取引の中でも、**一時は 78,990 円と急落（17 時半頃）**しているわけで、高値水準に居るだけに、変動幅も大きくなっている。

6 万円の 5%なら 3,000 円、…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 3 月	¥64,510	8 月 27 日	**¥78,840**	**2 月 8 日**	¥61,020	9 月 21 日	¥77,880
2013 年 4 月	¥63,400	9 月 26 日	**¥81,500**	**2 月 8 日**	¥62,560	11 月 6 日	¥80,350
2013 年 5 月	¥65,180	10 月 26 日	**¥81,420**	**2 月 8 日**	¥62,490	11 月 6 日	¥80,280
2013 年 6 月	¥67,980	11 月 26 日	**¥81,320**	**2 月 8 日**	¥66,480	12 月 10 日	¥80,160
2013 年 7 月	¥69,810	12 月 26 日	**¥81,270**	**2 月 8 日**	¥69,640	12 月 26 日	¥80,120
2013 年 8 月	¥76,550	1 月 28 日	**¥81,220**	**2 月 8 日**	¥75,360	1 月 29 日	¥80,070

夜間取引では、更に一代高値の更新中している。

2/8 現在の業者間転売価格は、…中略…

2/2 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、現水準では中期の相場見通しは立てづらい。また短期でも動きは激しくなる可能性が大であり、参入は日計りなどの超短期がベターか。とにかく現状では、まだ青天井相場が継続しているとしか、判断できない相場であろう。

〇東京灯油日足
…削除済み…

今週の灯油の値動き

	3 月限（当限）	前日比	8 月限（先限）	前日比
2 月 4 日	¥80,450	860	¥77,980	1070
2 月 5 日	¥79,030	−1420	¥76,840	−1140
2 月 6 日	¥79,950	920	¥78,440	1600
2 月 7 日	¥80,370	420	¥78,560	120
2 月 8 日	¥80,130	−240	¥78,310	−250

最後に灯油です…

先週号においては『さすがにここからの買い参戦はもう出来ないだろう。ただし、値頃売りだと相場の燃え種になるだけなので、天井を確認したら売るか、もしくは急落場面を拾うかだろう。いずれにせよ、相場の佳境は接近中だと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けに **79,180 円（2/4）と一代高値を更に更新**。しかしその後は乱高下に入り、**週末は 78,310 円での終了。その後の夜間取引では、77,350 円（17 時半頃）まで一時下落し、そこからは一転大暴騰で 82,030 円（3 時半頃）まで 4,680 円の上げ**。夜間の終値は 80,840 円で引けている。

連休前の大波乱が夜間取引で起きたわけだが、…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 3 月	¥67,500	8 月 27 日	**¥80,890**	**2 月 4 日**	¥64,080	11 月 6 日	¥80,130
2013 年 4 月	¥64,320	9 月 26 日	**¥79,680**	**2 月 8 日**	¥62,960	11 月 6 日	¥79,000
2013 年 5 月	¥64,410	10 月 26 日	**¥78,590**	**2 月 4 日**	¥62,530	11 月 6 日	¥78,110
2013 年 6 月	¥67,680	11 月 26 日	**¥78,480**	**2 月 4 日**	¥64,690	12 月 11 日	¥77,870
2013 年 7 月	¥68,440	12 月 26 日	**¥78,720**	**2 月 4 日**	¥68,040	12 月 26 日	¥77,960
2013 年 8 月	¥74,200	1 月 28 日	**¥79,180**	**2 月 4 日**	¥71,640	1 月 29 日	¥78,310

前述のとおり、先物だと夜間取引で **82,030 円まで記録**しており、**更に一代高値を大きく更新している。**

2/8 現在の業者間転売価格は、…中略…

こんな中で、不需要期の先物が 82,000 円台を記録というのだから信じられない思いだが、これも相場という事だろう。

2/2 現在の灯油在庫は、…中略…　だが、もう買いたくはないし、ひょっとしてあれが天井だった？

結論として当方の相場観は、韓国からの緊急輸入で需給逼迫は改善。それでも夜間取引では 82,000 円台という高値を記録したが、ひょっとしてあれが天井？　来週の動きに注目したい。

〔為替・株式〕

○ドル/円相場日足
…削除済み…
94.05 円（2/5）まで円安が進んだ相場は、週末には 93 円台前半に軟化し、その後は 92 円台へと円高に。
週末の NY 市場では、…中略…

○ユーロ/円相場日足
…削除済み…
127.69 円（2/6）まで円安/ユーロ高が進行した市場は、その後調整局面に入って、週末の NY 市場では 123.40 円まで 4 円ちょっとの円高となった。

チャートでの転換線が 124.44 円であり、…中略…

○ユーロ/ドル相場日足
…削除済み…
円は対ドル以上に、対ユーロで円高となる調整局面となっているのだから、当然の如くドルも対ユーロでドル高の調整局面となっている。
チャートで、ほぼ基準線に近いところまでドル高となっているのが、その証拠だ。

なお来週の主な経済指標の予定は、
11 日（月）日本は祝日で休場（建国記念日）、春節のため上海市場は 15 日まで休場、香港市は 13 日まで休場、ユーロ圏財務相会合
12 日（火）**オバマ米大統領一般教書演説**、カンザスシティー連銀、アトランタ連銀、フィラルフィア連銀総裁の講演
13 日（水）ユーロ圏鉱工業生産（12 月）、米小売売上高（1 月）
14 日（木）**日銀政策金利発表、白川日銀総裁の記者会見**、日本実質 GDP・1 次速報、ギリシャ失業率（11 月）、**ユーロ圏・仏・独・伊・ポルトガル・ギリシャ GDP 速報**
15 日（金）G20 財務相・中銀総裁会議（モスクワ）
などである。

注目は 14 日という事になる。

○日経 225 日足
…削除済み…
　さすがに週末は若干反落した株式市場であるが、リーマンショック後の戻り高値は更新した。次はリーマンショック前の価格である 14,000 円台目標だろうし、その前の高値の 18,000 円台までは持って行ってもらいたいものだ。
　そこまで行って、初めて日本の景気は回復したという事になるんじゃあるまいか。当方は、それを期待している。

○NY ダウ日足
…削除済み…
　日本の株式市場は、たかが 10,400 円付けたくらいで、調整局面が近いのではないかと大騒ぎしているわけだが、そんな事を言うのならば、米国の市場を見てみろ！と言いたい。
　一目見れば、説明は必要ないはずだ。

　…中略…

　このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。
内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものでは在りません。
（当たり前ですが念のため）

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com